

「学びの喜び」をもっと！もっと！！

校長 松本 雅史

先週は「チョコちゃんに叱られる」の話と、じゃがいもは、茎が変化してできるのに対して、さつまいもは根が変化してできたものだという話をしました。1週間、皆さんはどう過ごしましたか？そして今週はどう過ごそうと思っっていますか？

「ほおっと生きるのはいかがなものでしょうか？」

ということにはならないように、お互い今週も楽しく学んでまいりましょう。

ところで、お芋のことを私も私なりに調べてみました。それは「くき」と「ね」の違いです。根だと思っていた土の中のじゃがいもが、「あれは実は茎です」ということにとっても違和感を感じたからです。そうしたら、「くき」と「ね」の分かりやすい違いは、葉をつけるか付けないかにあるということです。もう少し詳しくいうと、茎は日に当たると緑色になります。アスパラガスは、白と緑がありますが、これは日に当てて育てたかどうかの違いです。日に当てないとアスパラガスは、緑にならず白くなります。日に当たって育った方が緑色になるのです。それに対して、根の方は日に当たっても色は変わりません。その性質を使って調べます。じゃがいもとさつまいもを日に当てます。これを数日続けると、さつまいもの色は変わりませんが、じゃがいもはだんだん変色してきて、緑色が表面に出てきます。これは、根ではなく茎の持つ性質です。子どものころ、祖母の畑にじゃがいもをとりに行ったときに、土から出てしまった所が緑になったじゃがいもをよく見かけました。あれがそうだったのかと私なりに合点がいきました。小さい頃の体験と、大人になってからの知識がこのように結び付いたとき、とても嬉しい気持ちになりました。

さて、今日のお題は漢字です。

低学年には少し難しいかな。今から、4つの漢字を見せます。そこからみんなはどんなことを思うでしょう？

「住」「柱」「注」「駐

「にているな」と思ったら、先生の気持ちとしては大合格です。

どの漢字にも「主」が入っています。さあ、本題はここからです。「ああそうだね」と、そこで終わらせずに続きを考えてみましょう。

この4つの漢字に共通するのは、「主」の「じっと1点にとどまる」という意味に基づいていることです。

「住」は、にんべんですから人に関係があります。「住む」は人が動かない場所です。

「柱」は、きへんです。木が動かないイメージです。

「注」は、さんずいで1点に向かって水を移動させる、つまり注ぐということです。「注視」という使い方もします。これは水とは関係ないですが、1点をじっと注意深く見ることです。

「駐」は、馬が動かない、つまり乗り物を止めておく所です。

このように、似ている者同士を比べて、そこから新しい発見ができるのも学びの楽しさです。そのためには、知識が多いことが大切です。知識が多いほどたくさんの結びつきを楽しむことができます。物知りになって、知識を結び付ける楽しさ味わう経験をたくさんしていきましょう。学ぶことはこんなにも楽しいのかと、学べば学ぶほど生き生きとしてくる、そんな日々の学びをすすめていきましょう。これで今朝の話が終わります。